

さかい〜統計情報館

The statistical report of Sakai City



今回の数字

92,318 人

作成日：平成 19 年 6 月 18 日

作成元：坂井市役所 情報政策課

TEL:0776-50-3014

FAX:0776-67-7509

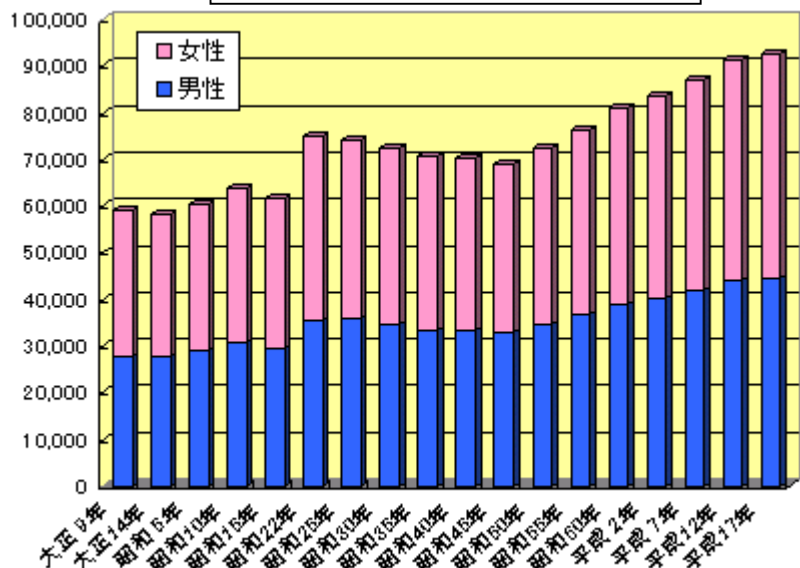
MAIL: jyouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

〜ピラミッドの姿が物語る〜

平成 17 年 10 月 1 日を基準日として国勢調査が実施されました。大正 9 年からほぼ 5 年ごとに実施され、平成 17 年は 18 回目となりました。総務省統計局が公表している結果によると、わが国の総人口は 1 億 2,776 万 7,994 人で、前回の平成 12 年調査よりも 84 万 2,151 人 (0.7%) 増加しました。しかし、増加率としては、戦後最低となったようです。福井県の総人口は、82 万 1,592 人で前回調査より 7,352 人 (0.9%) 減少しています。

さて、私たち坂井市の総人口は、公表結果によると 9 万 2,318 人でした。右のグラフのとおり、昭和 45 年の人口と比較すると、約 2 万 3 千人増加し、約 1.3 倍になりました。国・県と同様に、前回調査と比較すると、1,145 人 (1.2%) 増加しました。人口が減少する県の中にありながら、全国平均を上回る人口増加率となりました。しかし、グラフの推移が示しているように、増加はしたものの前回までのような増加の勢いではなくなってきたようです。

坂井市の国勢調査人口の推移

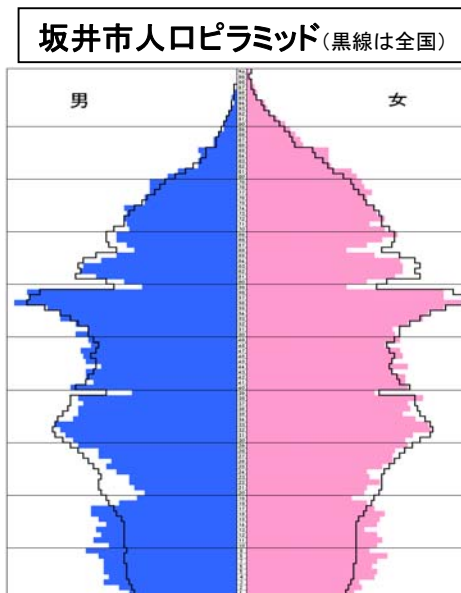


出典：国勢調査報告書

国勢調査は、人口を調査しているだけでなく、年齢構成・世帯構成・産業構造等の

状況を明らかにするために調査が実施されています。今回は、坂井市の年齢構成について人口ピラミッドを作成し、ご紹介したいと思います。坂井市の特徴が分かるように、人口構成比率をもとに全国のピラミッドを黒線で重ねてみました。

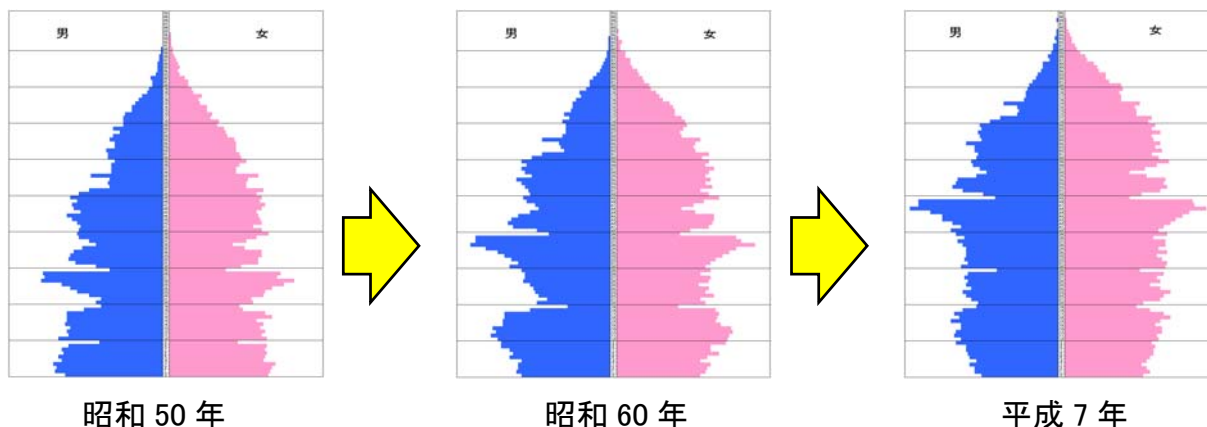
全国のピラミッドと比較して、大きな特徴として現れているところは、18歳までの人口比率が高く、19歳以降、20代から30代にかけて、特に20代前半の男性の人口比率が低いことです。全国の人口ピラミッドは団塊の世代（56～58歳）とその子の世代（32～34歳）が突出しており、その形から「ひょうたん型」と呼ばれるようですが、坂井市の形は上記のことから「だんご」に近くなっています。人口を年齢別に表のとおり3区分して、その比率を全国平均と比較すると、ピラミッドの姿と同様、坂井市は特に年少人口の比率が非常に高いことが分かります。



年齢区分	坂井市	全国
年少人口 (15歳未満)	16.2	13.7
労働力人口 (15～64歳)	63.5	65.8
高齢人口 (65歳以上)	20.3	20.1

出典：国勢調査報告書

次に、昭和50年から平成17年までの30年間について、人口ピラミッドにより人口構成の推移を比較してみました。



出典：国勢調査報告書

30年間のピラミッドを比べてみると、明らかに年を経るごとに、上部が大きく、下部が小さくなっていきます。テレビ新聞等で「少子高齢化」という言葉が頻繁に使われていますが、実際に坂井市のピラミッドの姿をみていくと現実味を帯びてきます。さて、10年後の姿を想像してみるとどんな形に？

☆今回の数字の答え☆：坂井市の総人口（平成17年国勢調査）

次回の国勢調査は、平成22年です。総務省によると既に人口減少局面に來ているとされていますが、坂井市の人口はどうなっているのでしょうか？皆様の調査へのご協力をよろしくお願い致します。国勢調査結果は他にもいろいろな項目がありますので今後ご紹介していきます。